



市民活動への支援

- 生涯学習施設の使用料の2分の1減免
- 介護施設等に感染症対策物品（マスク・消毒液・体温計等）配布
 高齢者施設57施設：約10,500枚
 障がい者施設31施設：約1,500枚
 保育園・幼稚園等16施設：7,500枚



地域経済への支援

- 「さきめしいこま」による市内事業への需要喚起(完売御礼!)
- 「いこまめぐり券発行」「宿泊補助」「旅行商品の販売促進」により域内周遊を促進し、消費喚起を加速
- 企業が実施するテレワーク環境の支援や市内のオフィス開設を支援する補助金を新設
- 国や県の事業活動支援を活用する事業者を市も支援



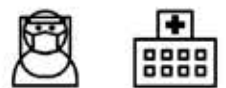
子育て・教育への支援

- 妊婦さんに1人5万円給付(対象:448人)
- 子育て世帯の児童1人あたり1万円給付(対象:約16,800人)
- 妊産婦特定保健指導オンライン相談窓口を新設
- 学習補助の指導員を小中学校に配置
- 児童・生徒、教師に1人1台のタブレット・PC貸与



医療体制強化への支援

- ふるさと納税「コロナに立ち向かおうコース」へのご寄付を活用し、感染者の入院や検査体制を強化



生駒市はR3年11月1日に市政50年！

これまでの50年を支えてくださった皆様に改めて感謝するため、市制50周年表彰、広報いこまちでの特集などを実施します。

また、次の50年のまちづくりを担う人材の発掘・支援を行うため、いこま50人会議を行います。

このほか、小学生が審査する「市制50周年ロゴマーク」の策定、友好都市の選定なども予定しています。「50」にちなんだ市民の独自企画も始まっています。

みんな一緒に生駒市の市制50周年を盛り上げていきましょう！



生駒市立小学校、幼稚園などの今後の在り方について

生駒市では、今、公共施設の整理合理化に取り組んでいます。これは国からの強い方針により、全国各自治体で取り組んでいるものです。

小学校、幼稚園については、有識者などによる検討の場「生駒市学校教育のあり方検討委員会」からの答申をいただいておりますが、**市の方針はまだ決定していません。**詳細については検討中であり、**年内に基本方針をまとめ、速やかに地域の関係者と意見交換**に入る予定です。

不正確な情報、事実と異なる情報が流れていますが、**生駒市としては、学校や幼稚園の今後の在り方という、子どもや地域の未来につながる重要な課題を、地域の皆様との意見交換なしに行政だけで決めることはありません。**

市民と行政がともに汗をかき、子どもたち、地域により良い形での施設の在り方を創っていきましょう。

こむらさき雅史を支援くださる方、共にまちづくりに取り組んでいく方を募集しています！

- 自宅やお店に、ポスターを貼ったり、リーフレットを置いたりできる方
- 市政報告ニュースやリーフレットをポスティングできる方（配布可能な地域を教えてください）
- 駅立ちの支援ができる方（支援可能な駅名を教えてください）
- こむらさきを招いてランチ会・意見交換会等を開催できる方（5名以上・詳細は要調整）
- 市政やまちづくりをこむらさき雅史とともに考え、行動に移したい方（インターン希望の方など）
- こむらさき雅史後援会のスタッフとしてお力いただける方

ご支援いただける方は【氏名】【お電話番号】【メールアドレス】等を下記までご連絡ください。

E-mail: ikomamirai@gmail.com Fax: 0743-77-6021

